

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申第12号

「駅業務執行体制の再構築等」に関する 申し入れについて提出しました！

今年度新たなサービスに関する指針が提示され、JR東日本グループとしてお客さまに対するサービスの向上に取り組む必要がある事については労使ともに共有した認識であると感じています。

そのような中、7月1日付けで北鎌倉・相模原両駅の(株)JR東日本ステーションサービス(以下JESS)への業務委託が提案されました。決してグループ全体でのサービス提供を否定するものではありませんが、組合員を中心に「この体制で安全を担保出来るのか」「異常時に強い会社を作るためにこれでよいのか」といった声があがっております。

今後、お客さまにJR東日本を選び続けていただくためには、労使間で例外を設けない真摯な議論を通じた、接客フロント体制づくりが必要であると考えます。

早急な改善を求め、6月5日に下記の通り申し入れをしました。

記

- 1、北鎌倉駅出札閉鎖に伴う新規通学定期券発売時期における発売体制をどのようにするのか明らかにすること。
- 2、北鎌倉駅通学時間帯におけるB線ホーム上における立番を継続するよう、JESSとの委託契約を行うこと。
- 3、相模原駅出札営業時間の短縮の理由を明らかにすること。
- 4、相模原駅業務委託に伴い、本体駅が橋本駅～町田駅と長くなるが、人身事故等の運転障害が発生した場合、運転再開に要する時間が長くなると考えるが、支社実行計画における「輸送障害発生時の対応能力強化」との整合性と、対策を明らかにすること。